

会 場：柏崎原子力広報センター 2F 応接室

出席委員：新野・渡辺(丈)・石田・佐藤・三宮・川口・久我・武本・渡辺(五)委員...9名

事務局：押見事務局長、柏崎市/名塚係長・桑原主任

視点原稿依頼文書について

- ・ 差し出し名を地域の会のみとし、編集委員という文字は削除し、文字を大きくする。

県の国民保護計画(素案)、環境放射線調査年度計画(案)について

国民保護計画について

- ・ 細かい点についてどうこう言えるような内容ではない。
- ・ このような計画をわざわざ作らなければならないという新たな心配の種をもたらすことは迷惑だということを記述してほしい。
- ・ 原発は全国 54 基もあるわけだから、武力攻撃からすべて守ることは不可能に近い。
- ・ 柏崎は原発を抱えているわけで、大規模都市の対応とは異なる。
- ・ 放射性物質の影響の及ぶ範囲が他の施設とは大きく違うということを記述すべき。
- ・ 武力攻撃の対処も平和的解決が可能であり、その努力が何より優先されなければならない・・・という結びでどうか。

環境放射線調査計画について

- ・ 環境放射線調査年度計画に関しては各自見てもらい、特に意見をまとめることはしない。
- ・ 測定場所が 20 箇所くらいだが、妥当性はどうか、他の地域とか、世界との比較とかで環境モニタリングについて説明してもらったらどうか。

次回、県から説明してもらおう。

前回定例会の武本委員の質問について

- ・ 東京電力の取水権の流量データ不正の件については、その中身ではなく、東電の体質自体が変わっていないのではないか・・・という点を言いたいもの。東電の基本姿勢を問うこと自体に問題はなっていないのではないか。この件の審査はエネ庁が担当。実際にデータを測っていなかったのに、記録を提出した。

次回、東電から説明してもらおう。

- ・ 東芝の福島流量計データ不正の件も報告事項に入っていなかったもので、その辺も聞きたい。

次回、東電から説明してもらおう。

保安院宛の防災訓練意見の修正について

- ・ 防災訓練の国の評価は今まで公表したことがないということだが、公表するよう要請したい。
- ・ この件に関する文章を付け加えて、保安院には改めて提出する。
- ・ もし、評価を公表できないのなら、できない理由を聞かせてもらいたい。

3月定例会及び4月以降定例会について

3月定例会

- ・ 予定通り勉強会（前回の続き）を実施。
- ・ 何点か話し合うべき問題も出てきてはいるが、まだ調査段階という回答になりそうなので、経過報告だけしてもらおう。（制御棒、再循環系配管）

4月以降定例会

- ・ 電磁界については、測定を希望委員同行で3月くらいに実施し、説明等は4月の定例会にしてはどうか。
- ・ 高経年化については5月以降に。防災の評価が出てきたあたりで、少し時間をとってもいいのではないか。
- ・ 地震・耐震の問題については国の指針の改定や女川の評価後。

その他

視察について

- ・ 行き先：地震関連なら女川、高経年化なら福島か福井。
- ・ 時期：9、10月くらいに実施。
- ・ 事前に地震や高経年化の勉強をしてから。
- ・ 3月の定例会で会長が概要を説明。

情報共有会議について

- ・ 前回実施したが、少し反省点を整理しておく必要があるのでは。時間が限られており、会議自体も懇親会の場も未消化な感じが若干した。もう少し、内容のあるものにするには、会議の時間を十分にとるために早い時間からの開始にするとか、土日にするとかの配慮が必要なのではないか。
- ・ テーマを決めて、もっと議論したほうがいいのかもわからない。

新メンバーの改選について

- ・ 委員の選任については市に一任していたが、地域の会メンバーとして動く必要はないのか。
 - ・ 12月くらいには、選任に関して動き出す必要があるのではないか。
 - ・ 委員からは推薦団体等に関する意見をもらい、推薦依頼は従来通り行政のほうから行っては。
- ### 保安院の広報公聴活動に対する評価委員会について
- ・ 会長が第1回の委員会に出席。
 - ・ NISA通信の評価、NISAのホームページの評価、プルサーマルシンポジウムの評価、地域対話促進事業の評価など、運営委員の意見がほしいとのこと。
 - ・ 3月の中旬に第2回の委員会があるので、それまでに意見がほしい。